

第 32 回台日工程技術研討会・講師履歴書

	お 名 前	阿部 忠
	ロ ー マ 字 表 記	ABE TADASHI
	最 終 学 歴	日本大学生産工学部 (博士 (工学))
	専 門 分 野	土木工学 (構造工学・維持管理)
ご 勤 務 先・職 位	日本大学教授	
主 要 職 歴	日本大学教授 (生産工学部)	
主 要 論 文・著 書	・ 阿部忠, 伊藤清志, 深川克彦, 徐銘謙: 早強・普通セメントに鋼繊維を配合したSFRC床版の耐疲労性の評価, 構造工学論文集, Vol.62A, pp.1240-1249, 2016.3 ・ 阿部 忠, 佐藤 浩弥, 澤野 利章: 圧縮強度が異なるRC床版に走行振動荷重が作用した場合の耐疲労性の評価およびS-N曲線式との整合性に関する研究, セメント・コンクリート論文集, Vol.69, No.1, pp.535-542, 2016.3 ・ 阿部 忠, 塩田 啓介, 吉岡 泰邦, 今野 雄介: 2タイプの鋼板格子筋を用いたRCはりのPCM増厚補強における補強効果の検証, セメント・コンクリート論文集, Vol.69, No.1, pp.634-641, 2016.3	
講 演 テ ー マ	鋼・コンクリート橋の劣化診断技術および補修・補強対策 鋼結構及混凝土複合材料橋梁之劣化診断技術與維修、補強對策	
講 演 概 要	日本では橋梁の老朽化に伴い、国土交通省では「道路橋長寿命化修繕計画事業」が進められ、既に7年が経過している。橋梁点検および調査においては劣化が著しく、橋梁架け替えや大規模修繕が計画されている。本講演では鋼橋梁およびPC橋の点検方法および診断技術について述べる。また、鋼橋梁の損傷事例と補強対策、海岸線に建設されたPC橋の補強技術について事例基に説明する。 在日本，由於橋梁日益老化，國土交通省於2009年推行「道路橋梁使用壽命延長計畫」。經過7年的橋梁檢測及調查結果顯示，部分橋梁確有劣化情形產生，故配合進行相關橋梁構件之更新及大規模維修改善工程。在本次簡報中，將針對鋼橋及預力混凝土橋梁之檢測方法和劣化診斷技術、鋼橋之劣損案例與補強對策及臨海預力混凝土橋之補強案例作說明。	